

学校教育支援活動にあたって

越谷市退職校長会

日頃、越谷市退職校長会の活動に関して、深いご理解と絶大なご協力をいただき厚く感謝申し上げます。

さて、昨今学校教育は深い苦しみや痛みを伴う時代の中にあるとも言われ、子どもたちの「いじめ」や「命」にかかわる行為など、生徒指導上の問題への対応が大きな課題となっています。

教師はもともと苦勞の多い仕事ですが、教師の仕事は子どもたちを豊かに育て、楽しい学びの世界にいきなない、自らの成長を実感することができる魅力的な尊い仕事であります。

この道を選んで、退職した私たちは、後輩の若き情熱をもった教師の仕事を少しでも支援していけたらと考え、本市退職校長会の活動の一つとして取り組んでいるところです。

全国退職校長会連合会では、平成20年度から「学校支援地域本部事業」を実施することとし、教師が子どもと向き合う時間の充実や、コミュニケーションを通じた地域の教育力の向上を図るために全市町村で支援活動に取り組むよう呼び掛けています。また、豊富な教職経験のある退職教員に対する教育関係者や学校教育現場からの要請もあり、令和5年度も前年度の反省の上に立ち、下記により実施していきたいと考えています。

また、平成29年度から開始されている「越谷こぼと塾」事業実施に伴い、当退職校長会への要請を踏まえ、今年度も協力していきたいと思います。

1 活動の経過とねらい

埼玉退職校長会では、平成20年度より「社会貢献活動の実態調査」を実施してきましたが、その結果の活用は各市町の退職校長会に任されています。

そこで、越谷市では具体的な活動として教育関係者や学校現場からの諸々の要請に応えるべく平成24年度から「学校教育支援活動」を推進することにしました。

なお、実施にあたっては、教育支援担当を中心に、小・中学校長会代表者や教育委員会とも協議のうえ、市内小・中学校長会でも説明し、理解と協力が得られるようにしていきます。

2 活動の内容と条件

- (1) 支援要請(又は支援者の働きかけ)があった場合は、その期間・実施学年指導内容など話し合いで決める。
- (2) 原則としてボランティア活動とする。但し、実験・実習費など教材費が必要な場合は、支援要請校の負担とする。
- (3) 支援活動は、担当教師が立会うか、又は、話し合いのもとで行う。その場合該当学年児童・生徒に事前に紹介してもらう。
- (4) 生徒指導に関わる問題は、学年や担任・教科担当者などと十分話し合いの上、解決に当たる。
- (5) 休業中の補習授業に支援要請をする場合は、事前にその主旨を学校から児童・生徒・保護者に連絡をする。
- (6)

3 その他

- (1) 事故が起きた場合は、児童・生徒は「日本スポーツ振興センター災害給付」により、会員の場合は、活動中・通勤途上を含めて越谷市が加入している「ボランティア保険」で対応する。
- (2) その他のトラブルについては、学校の責任者において解決する。
- (3) 元校長である事をお互いに意識せず、一市民の支援活動とする。

越谷市退職校長会会長 山口 竹美
支援活動担当 佐藤 良明
支援活動担当 大友 みどり